

令和 2 年（2020 年度）老人福祉センター 横浜市菊名寿楽荘 事業報告書

◆センター利用状況

項目	利用日数 実施回数	利用人員 (単位:人)			1日(一回)平均 (単位:人)		
		男	女	計	男	女	計
館全体	272 日	1,566	3,151	4,717	5.8	11.6	17.3
入浴者	0 日	0	0	0	0	0	0
趣味の教室	延 126 回	202	476	678	1.6	3.8	5.4
短期講座	延 15 回	35	83	118	2.3	5.4	7.9
保健相談	延 4 回	4	2	6	1.0	0.5	1.5
栄養相談	延 1 回	1	0	1	1.0	0.0	1.0
司法書士相談	0 回	0	0	0	0	0	0.0
貸教室利用	延 619 回	656	2,514	3,170	1.1	4.1	5.1

*令和 2 年度は新型コロナウイルスの流行で 4 月 1 日より6月15日(73日間)、開館日が少なく、利用者の利用自粛や年間を通じてのカラオケ・お風呂の休止により、館全体の利用者は例年の 10 分の 1 となりました。

◆各種事業の実施

・趣味の教室

今年度前期の教室は新型コロナウイルス感染対策として開講を見送りました。後期は教室の受講人数をほぼ半数にして開講しました。高齢者の生涯学習の一環として「教養」「趣味」分野の各種講座を開講し“生きがいくくり”の「場」と「機会」を提供することは重要と考え、検温・消毒・三密回避を徹底して開講いたしました。書道・絵手紙など飛沫感染リスクの少ない講座を優先して開講し、ボイストレーニング・囲碁・健康麻雀などリスクの高い講座は開講を見合わせました。1講座＝6 か月間、年間 26 講座を企画し後期の教室のみコロナ対応可能な 10 講座を開講いたしました。今年度は新講座を多数用意したことで利用者の反応がとてもよく良く、応募も多かったことから来期も利用者ニーズを探り、魅力ある教室を開催していきます。

・短期講座(1 日講座や数日間の講座)

利用者のニーズや社会状況を勘案しながらタイムリーなテーマについて取り上げ、参加しやすい多様なプログラムで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染対策が難しい講座は中止し、対策が取れた絵画、囲碁の講座を開催しました。

・催事事業

一年の節目、節目に合わせて文化祭や演芸大会など多様なイベントを12事業開催予定でしたが新型コロナウイルス感染対策・利用者減少と三密回避のため中止しました。また毎月 1 回開催している映画会も感染対策が取れないため中止にしました。

3 月 8 日には後期「趣味の教室」ケンハモのロビーコンサートを三密回避・新型コロナウイルス感染対策を施して行いました。またデジカメ写真教室の作品展を 3 月 24 日から 4 月 7 日までロビーで開催しました。

・季節体感事業

高齢者がいつまでも心身ともに健康で、生き生きといられるよう、節句に合わせて季節を体感できるようなイベント・演出を10事業(正月飾り・節分豆まき・ひな飾り・端午の節句飾り・菖蒲湯・七夕飾り・十五夜飾り・十三夜飾り・ゆず湯・クリスマス飾り)を予定していましたが、新型コロナウイルス感染対策としてイベントは中止し、代わりに受付やロビー周辺で演出に工夫を凝らした季節の飾り付けを行いました。

・世代間交流事業

菊名保育園の園児との交流イベント 6 事業(節分豆まき・桃の節句・子供の日の集い・七夕の集い・クリスマスの集い・合同消防訓練)や、看護学生(イムス国際看護専門学校)の体験実習を通じて高齢者と若者たちとの世代間交流の予定でしたが、新型コロナウイルス感染対策として合同消防訓練・看護学生の体験実習以外は中止しました。合同消防訓練は規模を縮小して感染拡大に留意して実行しました。看護学生の体験実習はビデオ撮影による館の紹介とし、所長が案内係を務めました。

・健康や福祉などの相談事業

高齢者の健康や生活支援のための専門家や職員による相談事業を定期的で開催予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用者が激減した為実施を下記の様に変更いたしました。

保健相談	第2・第4水曜日(2020年1月より事前電話予約制で再開)
栄養相談	第3水曜日(2020年1月より事前電話予約制で再開)
司法書士相談	6・10・12・2月の第2火曜日(今年度は利用者急減のためと感染予防のため中止といたしました。)
生活・就労相談	適宜実施(今年度は利用者急減のため希望者はおりませんでした。)

◆ 広報・広聴

菊名寿楽荘の活動をより深く理解していただくため、広報・広聴事業の推進・充実として寿楽つうしん・利用者アンケートを昨年まで実施していましたが、本年度は新型コロナウイルス感染対策に伴う利用者減少のため以下のように変更しました。

- * 広報⇒広報誌「寿楽つうしん」の発刊は4月から12月まで休刊し、横浜市老人クラブ連合会ホームページによる寿楽荘独自の「お知らせ」等を毎月更新してまいりました。また、広報よこはま港北区版に趣味の教室、短期講座の情報を掲載しました。発行再開後は経費節減のため利用者の増減に対応できるようコピーによる印刷を採用して、近隣公共施設に寿楽つうしん配架を依頼しました。
- * 広聴⇒利用者のニーズや意見等をアンケートやご意見箱、団体代表者会議などの諸会議で収集し、事業や行事などに反映しました。

今年度の利用者アンケートでも昨年同様「施設内は清潔で使いやすいですか」・「施設内の雰囲気や快適性」・「職員対応に対する満足度」・「センター全体への満足度」の質問に「普通」以上の評価を95%以上の方からいただきました。

◆ 諸会議等の開催・参加

情報交換や意見交換の場として、各分野の利用者団体代表と講師で構成する「団体代表者・趣味の教室講師会議」や利用者の代表による「利用者会議」を郵便により開催しました。また、更に利用しやすく親しまれる施設づくりやスタッフの意識向上・意思疎通を目的にした「スタッフ研修」「スタッフ会議」「リーダー会議」を新型コロナウイルス感染対策実施のうえ開催しました。特に昨年度に続き本年度も9月にヘイトスピーチ講習を実施いたしました。他団体との交流や学習を目的として、18区老人福祉センター所長会に毎回出席しました。